

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: みどり創出担当
 内線: 3149

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B38	みどりの街なみ創出事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	身近な緑の保全・創出事業費		
事業期間	平成23年度～平成33年度	根拠法令	なし				宣言項目 分野施策	051245 みどりの保全と再生		
1 事業の概要 緑の少ない都市部において、県民に身近な施設を緑化することにより、潤いと安らぎを創出するとともに、ヒートアイランド現象を緩和することを目的とする。 そのため、都市部の緑を目に見える形で集中的に創出し、緑豊かな街づくりを推進する必要がある。 (1) 駐車場緑化推進事業費 △6,281千円 (2) 施設等緑化事業費 △53,738千円 (3) みどり豊かな街づくり普及啓発事業費 △2,073千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 駐車場緑化推進事業費 83,020千円→76,739千円 イ 施設等緑化事業費 104,000千円→50,262千円 ウ みどり豊かな街づくり普及啓発事業費 6,895千円→4,822千円 (2) 事業計画 ア 駐車場緑化推進事業費 (ア) 駐車場緑化補助事業費: 駐車スペースの緑化を行う民間事業者、市町村等に対し補助金を交付することで、ヒートアイランド現象の緩和や環境意識の醸成を図る。 (イ) 県庁舎駐車場緑化事業費 イ 施設等緑化事業費 (イ) 民間施設緑化事業費: 商業施設や共同住宅等が行うモデル的な緑化事業に対して補助金を交付する。 (イ) 市町村施設緑化事業費: 市町村等が実施する緑の保全・創出事業に対して補助金を交付する。 ウ みどり豊かな街づくり普及啓発事業費 みどり豊かな街づくりを進める施策である緑化計画届出制度の普及啓発及び、特に優れた緑化計画の優良認定等を行う。 緑化計画届出制度による創出面積 実績: 平成26年度 47.4ha、平成27年度 49.2ha、平成28年度 51.9ha、平成29年度 55.3ha 目標: (身近な緑の創出面積) 平成29年度 50ha、平成29年度～平成33年度の5年間の累計 250ha (3) 効果 民間事業者等が行う緑化を促進することで、県民の目に見える場所の緑化を進めていく。併せて、環境意識の醸成を図るとともに、ヒートアイランド現象の緩和を含む地球温暖化対策に資する。 (4) 補正予算の概要 ア 補助金の執行が見込みを下回ったことによる減額 △59,714千円 イ 経費節減による減額 △2,208千円 ウ 事業内容の見直しによる減額 △170千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 地方交付税(包括算定経費) (区分) 企画費(細目) 環境保全対策費 (細目) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△62,092	繰入金	△62,092						0	131,823
現計額	193,915		193,915						0	